

医学部アドミッションポリシー (入学者受入方針)

昭和大学医学部は「至誠一貫」の精神のもと、医学を通して医療の発展と国民の健康増進と福祉に真心をもって寄与する優れた人材を育成することを目的としています。

昭和大学医学部のカリキュラムを修得し、卒業時に求められる能力を達成できる学生として、日々の学修と多様な経験の中から以下の能力を身に付けている人を求めます。

1. 医師となる明確な目的意識と情熱を有する人
2. ディプロマポリシーを教育目標とする本学に対する明確な志望動機を有する人
3. 中等教育の学業において、数学や理科(物理、化学、生物)などの自然科学と英語の基礎知識を持ち、国語、社会も幅広く履修した人
4. 他者を理解し、思いやりの心を持てる人
5. 人とかかわることに関心を持ち、基本的なコミュニケーション能力を有する人
6. 知的好奇心にあふれ、新しい分野に積極的に挑戦できる人
7. 地域での医療や国際的な医療活動に興味を持つ人
8. 1年次の全寮制共同生活・学修に積極的に取り組める人

面接試験では、以下の能力を評価します。

1. 目標に向かって自主的に努力できる能力
2. 他者の考えに傾聴するとともに自身の考えを表現して相手に伝える能力
3. 相手の立場で物事を考える能力
4. 社会における自己の役割を考える能力
5. 他者との共同生活において周囲の環境に自身を合わせていくとともに、自身の要望をかなえるために周囲の環境へ働きかける能力

◆次のような入学試験を実施します。

【推薦入試】(特別協定校推薦のみ)

1. 基礎学力試験:

英語、数学、理科(物理基礎、化学基礎、生物基礎から2科目)の基本的な学力を有するか評価します。200点満点とし、科目ごとではなく総合点で評価します。

2. 小論文試験:

科学の基礎知識や良好な倫理観、問題文の読解力、および解答を明確な分かりやすい文章で表現できるかなどを評価し、40点満点で点数化します。

3. 面接試験:

本学で医学を学ぶにあたっての動機や意欲のほか、社会に向き合う態度、基本的なコミュニケーション能力、医学に対する熱意と情熱、個性や才能を評価し、60点満点で点数化します。

4. 出願書類審査:

調査書および願書から推測される日常活動を考慮して社会に向き合う態度、基本的なコミュニケーション能力、医学に対する熱意と情熱、個性や才能を評価し、50点満点で点数化します。

基礎学力試験が一定の基準を満たした受験者において、基礎学力試験、小論文試験、面接試験、出願書類審査の点数を合計して350点満点で順位化し、総合的に判定し合格者を決定します。高順位であっても小論文試験・面接試験の評価が低い場合は不合格とします。

【一般選抜入試(I・II期)】

1. 一次試験科目の出題方針:

高等学校学習指導要領に則り、基本的・標準的問題を中核として、基礎学力と応用力を測る問題を含め、医学・生命に関連する問題など幅広い分野から出題します。

2. 一次試験合否判定基準:

学力試験:英語、数学、理科(物理、化学、生物から2科目)の得点総計が一定水準以上の人を一次試験合格とします。400点満点とし、科目ごとではなく総合点で評価・判定します。

3. 二次試験科目の評価方針:

小論文試験と面接試験により行います。

- 小論文試験:社会的関心事、医療・医学の関心事についての問題提起を行い、これに対する受験者の考え方を問う問題です。科学の基礎知識や高い倫理観、問題文の読解力、および自分の考えを明解な分かりやすい文章とする表現力を評価し、10点満点で点数化します。
- 面接試験:本学で医学を学ぶにあたっての動機や意欲のほか、社会に向き合う態度、基本的なコミュニケーション能力、医学に対する熱意と情熱、個性や才能を評価し、40点満点で点数化します。
- 出願書類審査:調査書および願書から推測される日常活動を考慮して社会に向き合う態度、基本的なコミュニケーション能力、医学に対する熱意と情熱、個性や才能を評価し、50点満点で点数化します。

4. 二次試験合否判定基準:

一次試験、小論文試験、面接試験、出願書類審査の点数を合計して500点満点で順位化し、総合的に判定し合格者を決定します。なお合格者を決定すると同時に補欠合格候補者も決定します。高順位であっても小論文試験・面接試験の評価が低い場合は不合格とします。

【大学入試センター試験利用入試(B方式:地域別選抜)】

1. 一次試験科目の出題方針:

大学入試センター試験の試験要領に則ります。

2. 一次試験合否判定基準:

学力試験:英語(リスニングを含む)、数学、理科(物理、化学、生物から2科目)に、国語、地理歴史・公民(「世界史」、「日本史」、「地理」、「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理、政治・経済」から1科目)を含めた基本的な科目の得点総計が一定水準以上の人を各地域で最低点を決め一次合格とします。900点満点とし、科目ごとではなく総合点で評価・判定します。

3. 二次試験科目の出題方針:

小論文試験と面接試験により行います。

- 小論文試験:社会的関心事、医療・医学の関心事についての問題提起を行い、これに対する受験者の考え方を問う問題です。科学の基礎知識や高い倫理観、問題文の読解力、および自分の考えを明解な分かりやすい文章とする表現力を評価し、20点満点で点数化します。
- 面接試験:本学で医学を学ぶにあたっての動機や意欲のほか、社会に向き合う態度、基本的なコミュニケーション能力、個性や才能、医学に対する熱意と情熱を備えているかを評価する面接試験を行います。また、本選抜は地域枠という特性から、出身地の医療や社会状況、出身地での将来的な医療貢献についても質問します。評価し、40点満点で点数化します。
- 出願書類審査:調査書および願書から推測される日常活動を考慮して社会に向き合う態度、基本的なコミュニケーション能力、医学に対する熱意と情熱、個性や才能を評価し、100点満点で点数化します。

4. 二次試験合否判定基準:

一次試験、小論文試験、面接試験、出願書類審査の点数を合計して1,060点満点で順位化し、総合的に判定し合格者を決定します。なお合格者を決定すると同時に補欠合格候補者も決定します。高順位であっても小論文試験・面接試験の評価が低い場合は不合格とします。